「夢ボード」企画書

資料４

１．企画タイトル

子どもたちの夢を育む「夢ボード」
森林保全活動で得られる間伐材を学校教材として活用する
https://drive.google.com/file/d/18R3v1X7BG5k9wN_GYkMMLeL9E7pPWroD/view?usp=sharing

２．これまでの活動と法人概要

SEF では、2006 年から、林業事業者、製材・木工事業者とともに、森林の多面的機能や役割、木材の利活用について学ぶ森林環境教育プログラムを実施してきました。今回企画した「夢ボード」は、森林再生活動を通じて得られる間伐材を活用し、教室の机に使用するデスクカバーです。子どもたちが森の再生活動を通して森林の多面的機能や役割、木材の特徴や加工技術について学び、日頃接点の少ない林業事業者や製材・木工事業者とのコミュニケーションを図ることが狙いです。毎日の学校生活のなかで触れる「夢ボード」を通して、地球環境、森に関わる人の暮らし、職業や技術との関係を連想することで、様々な学びが得られると考えています。また、技術家庭科、総合学習などの学習指導要領に沿って教材として活用できることもこの企画の特徴です。

本企画は、千葉県山武市私有林、千葉県森林組合、ＳＥＦ、学校法人郁文館夢学園（東京都文京区）が協働し、試験運用を経て、2018 年より導入しています（後述）。他地域でも展開できるだけの経験とノウハウが蓄積されましたので、今回ご提案させていただく運びとなりました。

【法人概要】
名称：公益財団法人 Save Earth Foundation　　略称：SEF（セフ）
所管官庁：内閣府大臣官房（公益法人行政担当室）

活動目的：この法人は、美しい地球を未来の子どもたちに残すため、限りある自然資源を有効利用し、持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目的とする。
活動方針　１．自然資源の地域循環と再生利用システムを構築し普及させる
　　２．森林並びに森林を中心とした里地里山の再生・保全活動と、活動主体形成の支援を行う
　　３．環境意識向上のための、よりよいきっかけを提供する

設立：1965 年　　現公益認定取得：2015 年
理事長：渡邉美樹（ワタミ㈱ 代表取締役会長 兼 社長）

住所：〒144-0043　東京都大田区羽田 1-1-3　大鳥居京急第一ビル
電話：03-5737-2744　　FAX：03-5737-2793
E-mail：info@save-earth.or.jp　　ホームページ：https://save-earth.or.jp/

担当者：事務局　福井　聡（ふくい　さとし）
　　e-mail:fukui-sa@save-earth.or.jp

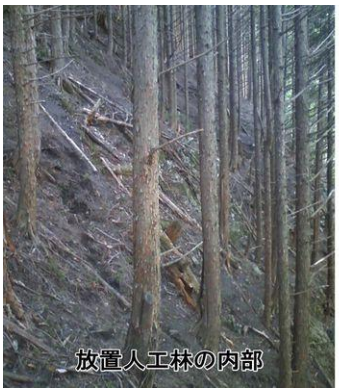
３．企画の内容

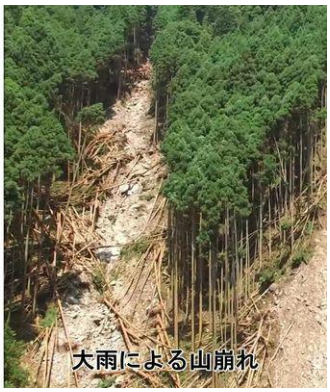
１．背景と目的

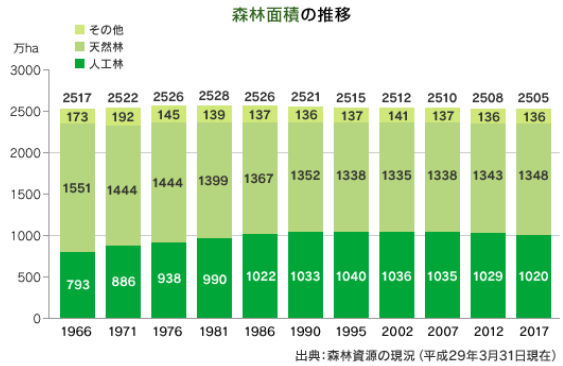
人は森林から様々な恩恵を受けているにもかかわらず、都市に住む子どもたちにとって、森林は日常生活から遠い存在になっています。また、林業事業者、製材・木工事業者との接点も少なくなり、森林の機能や国産木材を上手に活用することへの理解が進んでいない状況です。また、日本の国土の 7 割は森林で、そしてその森林の 4 割は戦後拡大造林された人工林です。人工林は木材生産を主目的に人の手によってつくられた森ですが、安価な外国産木材との競争に晒され、木材の行き場がなくなってしまったことにより長らく放置されて不健全な状態で今日に至っています。

今回開発した「夢ボード」は、国産間伐材を使用し、地元の森林組合、加工事業者の手によってつくられ、**1 枚当たり 1.53ｋｇの木材を使用し、0.77ｋｇの炭素が固定（カーボンストック）されているグリーン製品**です。

子どもたちが学校生活で「夢ボード」を使うことにより、市場性の薄い国産間伐材の新たな市場を創造し、購入した消費者が森林保全に貢献できる製品となっており、エシカル消費そのものです。
今回開発した「夢ボード」と森林環境教育プログラムが一人でも多くの子どもたちに提供され、夢の大切さやグリーン製品を購入することの意義が育まれることを意図して企画しました。







2．背景と目的

① 夢ボードが出来るまで

② コミュニケーションと学びの様子

③ 製品の仕様

・原材料　　国産杉間伐材（天板：JIS 規格品集成材、枠：無垢材）
・塗装　　国産蜜蝋
・付属品　　傷防止用シート、緩衝用ウレタン、留具
・裏面印刷　スクリーン印刷
・価格　　13,000 円～15,000 円（卒業記念加工費、送料含・税別）
※地域差有、教育プログラム運営費用は別途

３．持続可能な調達（消費と生産）

子どもたちは森林での活動や林業事業者、製材・木工事業者との**コミュニケーション（消費者と生産者の相互理解）を通して**、森林が持つ多面的機能や役割を理解し、持続可能な資源のひとつである木材の特徴や上手に活用することの意義や技術を学びます。人工林の維持管理には間伐が必要で、その間伐材を上手に加工し長く使用していくことが環境にとっても優しいことを学ぶことは、**地球環境に配慮した消費行動**につながります。

また、市場が厳しい**国産間伐材の利活用**は、消費者が森林保全に参加するきっかけになります。

４．SDGs との関連性

この 3 年間で、約 4,000 人の子どもたちに、**「夢ボード」を通じて環境に配慮した消費**についての理解を深めなが、自らの夢を育むプログラムを提供してきました。この取り組みを継続し、他地域にも拡大していくことで、森林の課題を抱える**地方と都市住民との交流の機会を増やし、グリーン市場の拡大**につなげていきます。

SDGs との関連性では、15 番の陸の豊かさを守ろう、次いで 13 番の気候変動に具体的な対策を、そして 4 番の質の高い教育をみんなに　に対して効果的な取り組みです。伝統技術や伝統産業に関わる方たちとの連携した取り組みであることから、8 番、17 番の達成にもつながります。

４．得られる成果・効果等

１．実績

2018 年から学校法人郁文館夢学園と共同で企画開発してきました。全学年の生徒に、ＳＥＦが提供する森林環境教育プログラムを提供しています。2018 年 4 月に高校 1 年の生徒 800 人に「夢ボード」をテスト導入し、2021 年 3 月に卒業時には、夢ボードを盾に加工し、卒業記念としてプレゼントしました。この盾には、思い出と共に、その時に描いた夢が刻まれていて、これからも末永く寄り添うことになります。

2019 年度 1,200 台、2020 年度 1,200 台、2021 年度 1,200 台を導入し、現在、全校生徒 3,000 人がこの「夢ボード」を使用しています。この 4 年間で約 **4,000 人の子ども達に、グリーン製品に触れるきっかけと、林業従事者、製材木工事業者とのコミュニケーションの場**を提供することができました。

（参考）使用された木材の使用量は累計 20 ㎥で、炭素固定量は約 3.2 トンとなり、CO2 に換算すると約 11.2 トンを
固定している計算になります。

２．先進性・独自性

森林林業事業者、製材・木工事業者とのつながりのあるプログラムであることが特徴です。また、森林での実体験があることに加え、夢を育み成長を記録することができ、卒業記念品としていつまでも身近に感じることができる「グリーン製品（教材）」になっています。

３．継続性・発展性

東京都内の私学（学校法人郁文館夢学園　東京都文京区）との共同開発を通して、製品としての完成度の向上とＥＳＤプログラムの充実を図ってきました。企画開発から４年が経過し、成果が確認できたことから、横展開を計画しています。

2021 年度は、**東日本大震災で被害を受けた陸前高田市で同様の企画**を展開を計画しています。陸前高田市では、市内の小学生を対象に、森林組合、製材事業者、気仙大工の流れをくむ木工職人と連携し森林での学びを開始します。そして 2023 年 4 月の入学に合わせて、「夢ボード」を導入する計画です。

また、近くに森林のない都市部に住む子どもたちには、今後陸前高田市で受け入れる予定の林間学校や修学旅行とタイアップします。林業事業者、製材・木工事業者との交流の機会を設け、その活動を通して得られる間伐材を使用した「夢ボード」を導入することで、学校生活に戻ってからも、地球環境、人の暮らし、職業や技術との関係を連想し、環境に配慮した消費への理解が深まると考えています。